

平成29年度 社会福祉法人白鳩会事業報告

社会福祉法が大きく改正され、理事会や評議員会の在り方をはじめ、法人本部及び各施設の運営状況についても詳細にわかりやすく情報を公開することを義務付けられるようになりました。

本法人においては従前より財務状況など運営にかかわる情報はホームページ上に公開していましたが、法改正により、新たに義務付けられた項目についても公開するようにしました。今後も法人及び施設の情報は積極的に公開をしていきます。

保育士の人材不足は慢性的になってきており、保育士不足を理由に閉園する園まで出ており、今後は保育士不足による園児を受け入れることが困難な状況が続くことが想像でき、国が進める待機児童対策での施設数の増設による待機児童解消の目論見とは逆の方向に向かっています。

法人内各施設においても同様であり、常勤職員の雇用は難しく非常勤職員の雇用が増えてきており、今後は職員不足による園児数減少も想定され、経営的には明るい見通しが立たない現状です。

平成11年4月、白鳩保育園（現：白鳩チルドレンセンター東大阪）の老朽改築時に併設し、20年間運営してきた老人デイサービスセンターアングスのトマトの事業については、ここ数年近隣に同様施設が多数開設し、競争が激化し、利用者数が伸び悩んだことに加えて3年ごとに見直される介護報酬の改定時に通所介護事業の報酬は減額の一途になったこと、職員確保もままならず補充もできない状況の中で今後健全経営を継続することが難しくなったため、平成30年3月31日をもって事業を廃止することとし、大阪府及び東大阪市へ届出をしました。職員については継続雇用できるよう努め、大半職員は法人内の施設に異動としました。

守口市立藤田保育所の民間移管事業について、平成28年度に本法人の提案が採択され平成30年4月1日移管後の「ゆずり葉こども園」開設に向けての引き継ぎを園長予定者中心に進めてきました。

職員の採用人事に難航し、白鳩チルドレンセンター東大阪、白鳩チルドレンセンター八雲中、アングスのトマトからの異動職員に加えて、新卒職員、藤田保育所の任期付き職員、他園での経験者など採用しましたが、正規職員の採用がままならず、非常勤職員を多く採用して対応しました。

合わせて開園までの期間は現地での引き継ぎに加えて東大阪、八雲中での実地研修等を行い、準備を勧めました。また、看護師は西糞谷しろはと保育園にて研修を受けています。

大阪市当局より、山王保育所の事業について現在は大阪市からの事業委託の形式で運営していますが、平成32年度より法人の運営に移管する方針が示されました。土地については貸与となりますが、建物については大阪市が試算した価格で法人に購入してほしいとの意向でした。詳細の内容については今後大阪市と協議を重ねて理事会で審議・承認を受けてからの判断としたいと考えます。